

- [成果情報名] 収量と身体負担からみたアスパラガスの柵板による高うね栽培の適切なうね上面幅
- [要約] アスパラガスの半促成長期どり栽培の柵板による高うね栽培に適切なうね上面幅は、収量と身体負担の軽減を両立するなら 50cm が適切である。
- [キーワード] アスパラガス、柵板、高うね、うね上面幅、収量、身体負担の軽減
- [担当] 香川農試・野菜・花き部門 三木試験地
- [連絡先] 電話 087-898-0004
- [区分] 近畿中国四国農業・野菜
- [分類] 技術・参考
-

[背景・ねらい]

アスパラガス半促成長期どり栽培の収穫日数は 250 日を超え、作業はかがみ姿勢であり農家の身体負担は大きい。そこで、柵板によりうね上面幅を制限した2うねの高うね栽培において、適切なうね上面幅を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 地際からうね上面までを柵板などを用いて固定し、うね高さ 40cm の高うね栽培とし、株間 40cm の1条植えとする (図1)。
2. 収量は、うね上面幅を 50cm と 100cm とした場合に多く、25cm はやや劣る (図2)。
3. 身体負担の軽減は、うね上面幅 25cm が最良で、次いで 50cm、100cm である (図3)。
4. 収量と身体負担の軽減を両立するなら、うね上面幅 50cm が適切である。

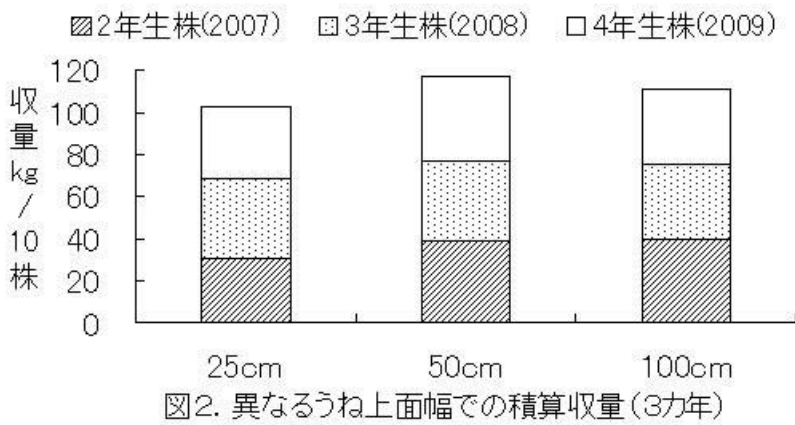
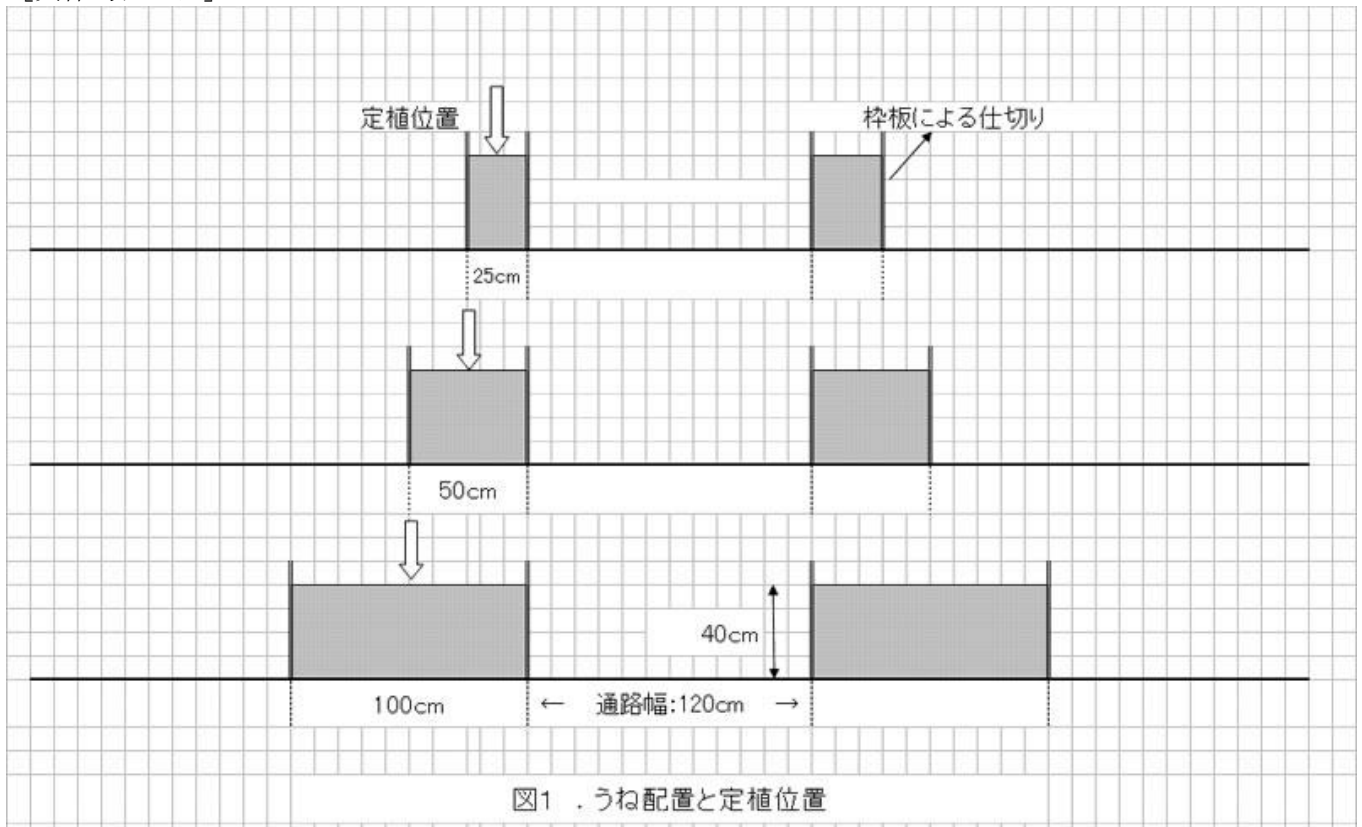
[成果の活用面・留意点]

1. 実際栽培において柵板は通路側のみで十分であり、資材があぜ板波なら、費用は 10a 当たり 25～35 万円、耐用年数は 10 年以上である。
2. ハウス間口 5.4m、通路幅 120cm における「さぬきのめざめ」の2うね栽培の結果であり、ハウス間口や品種が異なる場合は、うねの数や幅の検討が必要である。
3. 「さぬきのめざめ」の種苗供給は香川県内に限られる。
4. 防根シートなどの根域制限等は行っておらず、根域制限栽培とは異なる。

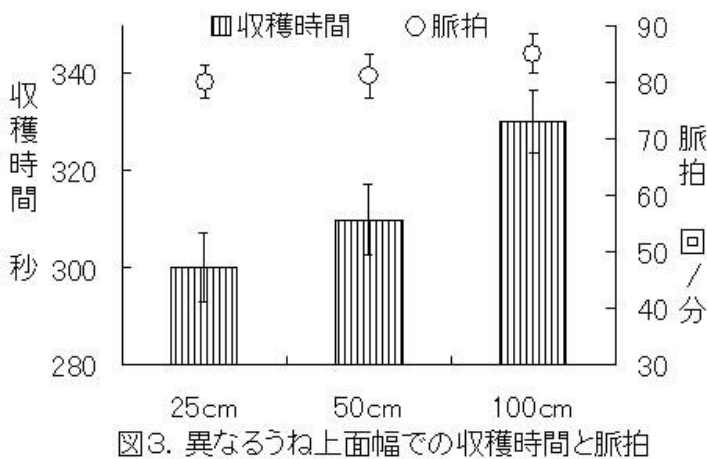
[その他]

研究課題名 : 超早どり・高品質アスパラガスの開発
予算区分 : 単県
研究期間 : 2006～2010 年度
研究担当者 : 池内隆夫

[具体的データ]



品種:「さぬきのめざめ」、播種:2006年1月5日、定植2006年7月13日、栽植株数:926株/10a(3区とも同数)、その他栽培管理は香川県アスパラガス栽培指針に準じた



収穫時間: 各区20m長のうね上に任意に立てた50茎を収穫するのに要した時間
脈 拍: 収穫作業終了後に測定